

複合循環式陸上養殖・最終実証試験

鹿児島大学・鴨池臨海地センターで

「アワビとアオサと微生物の循環複合エコ養殖」をほぼ完成させた、鹿児島大学水産学部教授(門脇秀策)とJIFASは、弊会設立以来、信頼関係を継続しています。今般、同教授が開発に携わり、コンテナ使用による小規模養殖は、JIFASが開発してきた背景と密接な関係があります。現況に於ける両システム技術の優れた面を合わせて、さらなる理想的システムの確立を目指します。

その歴史的経過を簡潔に記します。

- ・ 2003～4 「循環式エゾアワビ養殖」北海道大学と共同研究
- ・ 2004～5 「循環式アワビ養殖～複合養殖」於・真鶴民宿 まるみや 門脇教授・望月サバ大学准教授アドバイザーとして参画
- ・ 2005～6 「小規模陸上養殖システムの製作及び実験」(財)シップ・ンド・オーシャン財団とコンサルティング契約。門脇教授・望月サバ大学准教授アドバイザーとして参画
- ・ 2008～9 「複合循環式陸上養殖の共同研究」高知大学

上記経過からも、今回の鹿児島大学での最終実証試験は、実用化に向けてより合理化された成果が期待されています。



▲ 最終実証試験が予定されている、鴨池臨海地センター全景

【最終ページにつづく】